

防ごう!

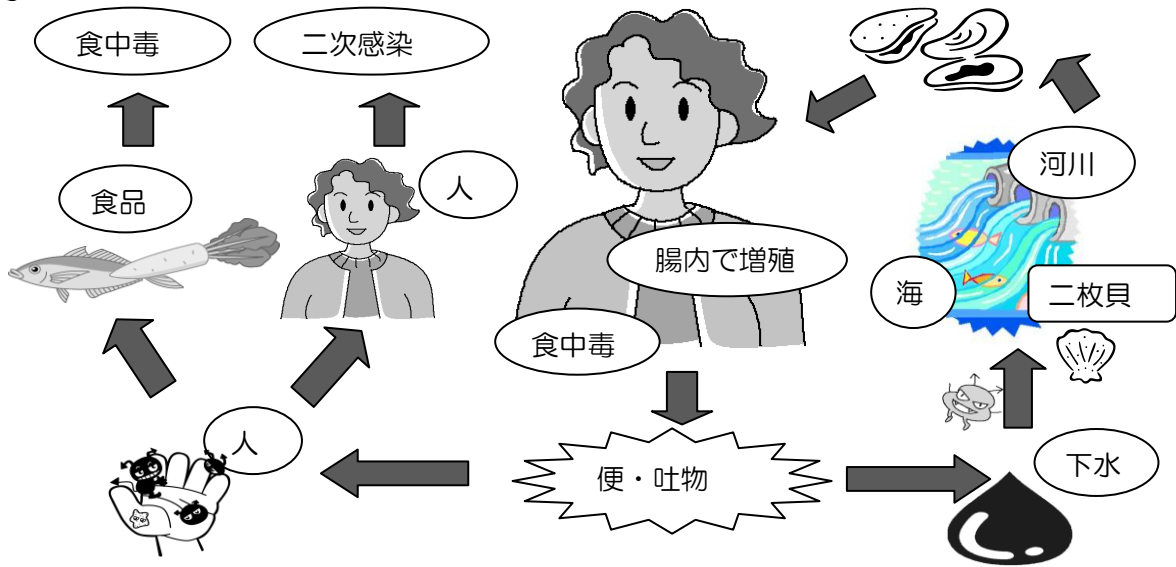
ノロウイルス(感染性胃腸炎)!

今市第二小学校

どうやって感染するの?



このウイルス感染は、ほとんどが経口感染（口から口への感染）です。感染経路としては、人から人あるいは食品による感染が考えられています。



【経路① 食べ物→人】

ウイルスを取りこんで蓄積しているカキやその他の二枚貝を生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合

【経路② 人→食べ物→人】

ウイルスに汚染された調理従事者などの手、調理器具を介して汚染した食品を食べた場合

【経路③ 人→人】

ウイルス感染した人からの便、おう吐物、タオルなどから二次感染した場合

症状

感染後、1～2日で吐き気・おう吐・腹痛・下痢などの症状があらわれます。発熱はないわけではありませんが、その頻度は低く、あまり高い熱とはならないことが一般的です。



ノロウイルスの予防方法

- ① 調理前、食事前、トイレの後など、十分な手洗いやうがいをする。
- ② 生鮮食品は十分洗浄し、カキなどの生食は、必ず「生食用」に限る。
- ③ 加熱する際は、食品の中央まで火が通るように、中心温度85℃以上で1分以上加熱する。
- ④ 便や吐物などの排泄物等は、必ず衛生的な処理をする。
- ⑤ まな板や包丁などの調理器具は十分に洗浄し、熱湯（85℃）で1分以上の加熱をするか、0.02%の塩素系漂白剤（ハイター等）を用いる。



家庭における おう吐物の処理方法

① 換気をする。処理する人は、手袋マスクを着用する。



② 次亜塩素酸ナトリウム 0.1%液をつくる。

※作り方は、下記を参照

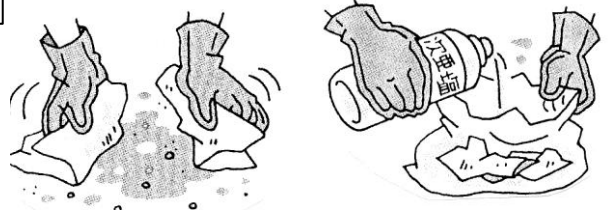
《準備するもの》

- ・使い捨て手袋 ・マスク
- ・ビニール袋 ・ごみ袋
- ・ペーパータオル（布など）
- ・漂白剤 ・ペットボトル など

④ おう吐物が付いた床や周辺を、次亜塩素酸ナトリウム液をしみこませたペーパータオルなどで10分間おおい、その後水ぶきをする。



③ おう吐物をぬぐいとり、小さいビニール袋に入れ、次亜塩素酸ナトリウム液を注ぐ。



⑤ ごみ袋に、
 ・③のおう吐物ビニール袋
 ・④のペーパータオル
 ・手袋、マスク などを
 入れ、次亜塩素酸ナトリウム液を注ぐ。

⑥ 処理後は石けんでていねいに手洗いをする



○処理後もしばらく換気を続ける。

○消毒が不十分だとおう吐物が乾燥して、ノロウィルスが空気中にたどよい、2次感染の恐れがある。

次亜塩素酸ナトリウム0.1%液（漂白剤の薄め方）の作り方

用意するもの：ペットボトル 500ml（1本）、漂白剤

ノロウィルスには加熱や塩素系漂白剤による消毒が有効です。
 使用方法を守り、適正な濃度に薄めて使用しましょう。

使用目的	適正な濃度
下痢便、嘔吐物の処理時	0.1% (1,000ppm)
調理器具、トイレのドアノブ、便座、床などの日常的な消毒	0.02% (200ppm)

① 5%塩素系漂白剤をペットボトルキャップ2杯分（約10ml）をペットボトルに入れる。

※1%塩素系漂白剤の場合10杯分
 10%塩素系漂白剤の場合1杯分



ペットボトル 500ml（1本）

② 水をペットボトルいっぱい入れて薄める

③ 50倍に薄まり0.1%になる

※日常的な消毒には、さらに5倍薄めた0.02%のものを使用

- ・使用する直前に薄めて使い切るようにしましょう。
- ・誤飲しないよう作り置きはやめましょう。

商品によって塩素濃度が異なるので確認しましょう。